

尼崎市立中央図書館
としょかんNOW
図書館だより

中央図書館だより No.367
令和4(2022)年1月1日発行
尼崎市立中央図書館
〒660-0826 尼崎市北城内 27 番地
TEL (06)6481-5244
FAX (06)6481-2142



図書館ホームページアドレス
<https://www.amagasaki-library.jp/>

※お使いの機種によっては、読み取らないこともあります。
※ご利用のパケット通信料は利用者のご負担となります。

尼崎と作家たち 第23回

村野 藤吾 (むらの・とうご)

建築家



1891年佐賀県唐津市生まれ。

1918年、早稲田大学理工学部建築科を卒業後、渡辺節建築事務所で勤務。1929年、大阪で村野建築事務所を開設。広島の世界平和記念聖堂、兵庫県立近代美術館（現・原田の森ギャラリー）、宝塚カトリック教会など数多くの作品を手掛ける。尼崎市内では、1937年建築の旧大庄村役場（現・大庄南生涯学習プラザ）と1962年建築の尼崎市庁舎が村野作品であり、現在もその姿を目にすることができる。

1967年文化勲章受章。日本芸術院会員、イギリス王立建築学会名誉会員、アメリカ建築家協会名誉会員。日本を代表する建築家の一人として高い評価を得、日本現代建築史にその名を残した。

作品紹介

「村野藤吾建築案内」 TOTO 2009年発刊

「美術館」「店舗・百貨店」「庁舎・公共建築」など、13の用途別に村野建築135作品を紹介した1冊。村野藤吾の略歴や関係者・研究社による村野論、コラムも盛り込まれ、その魅力を知ることができます。尼崎市内の村野建築、尼崎市庁舎と旧大庄村役場（現・大庄南生涯学習プラザ）も掲載。

あけましておめでとうございます

今年も 皆様がより利用しやすい図書館になりますよう
職員一同 頑張ってます
どうぞ、よろしく願いいたします

尼崎城・中央図書館・歴史博物館3施設連携 謎解きゲームイベント

「忍者尼丸の 合言葉を探せ」

【期間】1月4日(火)～3月31日(木)

(※ 図書館休館日をのぞく)

【場所】尼崎城、中央図書館、歴史博物館

【対象】小学生以上 【参加費】尼崎城入場料

城下町の3施設をめぐる、謎を解こう！
全ての謎を解いてゲームクリアすると、プレゼントがもらえます。
謎解きシートは、スタート地点となる尼崎城で配布。
参加にあたっての事前申し込みは不要です。



共催イベント

図書館と盗まれた本の謎

- 【主催】 liber (高校生で構成された本好きの読書推進グループ)
【日時】 1月15日(土) 11:00～12:00
【場所】 中央図書館
【対象】 12歳以上(先着25名)
【申込】 右記のQRコードもしくは
中央図書館へ電話(06-6481-5244)



“探偵”となったあなたは謎を解き、図書館に隠された「盗まれた本」を探します。
グループごとに隠された本を探し、たどり着くまでの速さを競う謎解きゲームです。

ビブリオバトル尼崎 天下統一への戦い

- 【日時】1月22日(土) 11:00～12:00
【場所】中央図書館 1階 セミナー室
【テーマ】全国の人に紹介したい本

(※優勝者は全国大会の予選会への出場権が得られます)

発表希望者は電話または直接、中央図書館まで。
(TEL: 06-6481-5244)
観覧は申し込み不要です。お気軽にどうぞ!



Youtubeで2021年10月に実施した
「ビブリオバトル秋の陣」を公開中です!
◆公開のアドレスはこちら↓

<https://www.youtube.com/watch?v=ueUvIpu040w>



QRコードからも
どうぞ

レファレンス室から

～新刊紹介～



『世界遺産ガイド 日本編 2022年改訂版』
(シンクタンクせとうち総合研究機構)2021年9月発刊

2021年のユネスコ世界遺産認定「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」「北海道・北東北の縄文遺跡群」をはじめ、暫定物件5件、すでに認定されている25件について、登録の内容、特徴、経緯、アクセス方法など、最新の概要がまとめられています。

この資料は3階レファレンス室で
ご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな質問がありました！

“昔、昔、その昔、しのき林の～”という唱歌の歌詞全文が知りたい。



『童謡名曲事典』(全音楽譜出版社)には巻末に〈歌いだしによる曲目索引〉があり、“昔 昔のその昔 椎の木林の～”で始まる歌が「お山の杉の子」とわかりました。6番までのすべての歌詞や楽譜も収録されています。そのほか『こどものうた 童謡と唱歌』(野ばら社)にも「お山の杉の子」の歌詞・楽譜が、『日本童謡事典』(東京堂出版)には歌詞・解説がそれぞれ掲載されていました。

常設三二展示

～2022(令和4)年の干支～

「寅」の本

2022(令和4)年の干支は「寅(とら)」。今月の展示は「寅(虎)」にまつわる資料を集めています。十二支の中の寅を始め、虎が登場する古今東西の文献や文学作品、虎をモチーフにした郷土玩具、絵画・美術書などを展示します。



期間：2022年1月4日(火)～1月26日(水)

場所：2階 エントランス

読みくじ お試しあれ！

【期間】 1月4日(火)～1月26日(水)

【場所】 2階 エントランス

図書館で、今年最初の運だめし！「読みくじ」を引いて、今年の運勢を占ってみませんか？
どんな結果でも大丈夫！読みくじが導く本を書架から探すと運気が高まるかも…！？



1月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8◆
9○	10○	11	12●	13	14	15◆
16○	17	18	19	20	21	22◆
23○	24	25	26●	27	28	29◆
30○	31					

開館時間 9:00～20:00

※■印は休館日です。

※○囲み(日・祝)の開館時間は17:15まで。



1月の朗読の会は、
お休みです。

※ 次回は、2月1日(火)です。



◆おはなしの会

14:10～14:25

子ども(0～3歳くらい)と保護者

14:30～14:50

4歳くらい～小学生



●コアラくらぶ

11:00～11:20 0～3歳と保護者

詳細はホームページまたは子ども向け図書館日より
「本と友だち」をご覧ください

特別整理が終わりました。

12月6日(月)から16日(木)の間、館内の書架にある本のバーコードを一冊一冊読み取って、蔵書点検を行いました。

また、今回は一般開架室で出版年の古い本を抜き出して書庫へ移動するなど、本の配置変更も行い、無事に特別整理を終えました。

休館に際しましてはご理解とご協力をいただき、
ありがとうございました！



点検作業の他、
表示のリニューアル
なども行いました

点検中はボランティアさんにも
ご協力をいただきました。

担当者のつぶやき

今年は寅年。私にとって「とら」で、真っ先に思い浮かぶ作品はステューブン・キングの短編『ほら、虎がいる』。干支にちなんだ本を読み初めにして今年も一年、新たな本との出会いを求めていきたいと思います。(H.S)



2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6○	7	8	9	10	11○	12
13○	14	15	16	17	18	19
20○	21	22	23○	24	25	26
27○	28					



あまがさきしりつちゅうおうとしょかん
〒660-0826
あまがさき きたじょうない27ばんち
電話 (06)6481-5244
ファックス (06)6481-2142
図書館ホームページアドレス
<https://www.amagasaki-library.jp>
あいているじかん
火～土ようび あさ9じ～よる8じ
日・しゅくじつ あさ9じ～ゆうがた5じ15ふん



令和4年

1月



今月のテーマ

干支(えと)の本

あけまして おめでとうございます

ことしも、こころにのこるを本を
たくさん、よんでくださいね。
みんながきてくれるのをまっています。

ほん



ふゆやす かい 冬休み子どもえいが会



<とき> 2022年1月5日(水) 14時～15時10分
<ばしょ> 1かいセミナー室
<ないよう> 「くまのアーネストおじさんとセレスティーヌ
～小さなオバケたち～」(62分)
(当日先着 24名)



よ ぞ かい 読み初め会

<とき> 2022年1月8日(土) 14時10分から14時50分
<ばしょ> 2かい おはなしのへや
<たいしょう> 小学生以下とその保護者
<ないよう> 「こはるちゃんのたのしいおしょうがつ」(紙芝居)
「十二支のおはなし」 ほか





今年は、寅年です。とらのように、ゆったりとかまえ、まわりをみわたし、なにがおきてもゆうかんにたちむかっていきましょう！
2022年が、みなさんにとって、よい年となりますように。

えほん

「トラのじゅうたんになれたかったトラ」

ジェラルド・ローズ / 文・絵 ^{ぶん え} **ふしみ みさお** / ^{やく} 訳
(いわなみしよてん (岩波書店))



いいなあ、おれもなかまにはいたいなあ。としをとり、やせてしまったトラは、いごごちのよさそうなおうさまのきゆうでんをのぞいていました。あるひ、トラは、いいことをおもいつきました…。



48(どうぶつ)

「ミッション・トラ・レスキュー」

キットソン・ジャジカ / 文 ^{ぶん} (ハーパーコリンズ・ジャパン)



いま、自然のトラのかすが、どんどんへっています。なにがげんいんなのか、わたしたちは、どうしたらトラをまもることができるのか、いっしょにかんがえましょう。



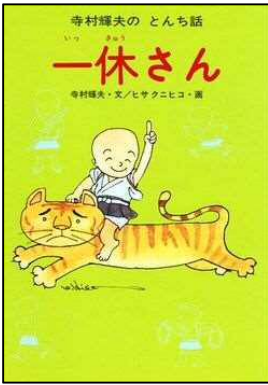
48(どうぶつ)

「トラの子を助けだせ！」

野生どうぶつを救え！ 本当にあった涙の物語」
ルーザ・リーマン / 文 ^{ぶん} **嶋田 香** / ^{やく} 訳
(KADOKAWA)



どうぶつえんでうまれたトラの子ロケは、うまれて3日目におかあさんからひきはなされ、ペットショップで売られていました。人びとは、協力してロケをたすけだします。



F/I (日本のよみもの)

「一休さん」

寺村 輝夫 / 文 ヒサ クニヒコ / 絵 (あかね書房)

むかし、あるお寺に一休さんという、かしていこそうさんがいました。ある日、おしろによばれた一休さんは、とのさまにむずかしいもんだいをだされました。

F/F (日本のよみもの)

「ふしぎなトラのトランク」

風木 一人 / 文 斉藤 雨臈 / 絵 (すずき出版)

まち 町にトラがやってきました。トランクをさげて、ひとりで、あるいて！トラは、レストランにはいり、メニューをみて、注文しましたが…。



展示の
おしらせ

冬休みにおすすめする本



こどもの本のへやの前にコーナーをつくります。
おやすみのあいだによんでみてね♪

イベントの
おしらせ



「忍者尼丸の
あいことば
合言葉を探せ」

きかん：1月4日(火)～3月31日(木)
ばしょ：尼崎城、中央図書館、歴史博物館
さんかひ：尼崎城入場料

「とくべつせいり」がおわりました！

12日6日(月)から16日(金)のあいだ、としょかんでは本のでんけんや本だなのせいりなど、たくさんのさぎょうをおこないました。

返す本は、
ここに
おいてね



としょかんカレンダー<1月>



1日 (土)	1日(土)から 3日(月)まで おやすみです。
2日 (日)	
3日 (月)	
4日 (火)	
5日 (水)	こどもえいが会
6日 (木)	
7日 (金)	
8日 (土)	読み初め会
9日 (日)	
10日 (月)	成人の日
11日 (火)	おやすみ
12日 (水)	コアラくらぶ
13日 (木)	
14日 (金)	
15日 (土)	おはなしの会
16日 (日)	
17日 (月)	おやすみ
18日 (火)	
19日 (水)	
20日 (木)	
21日 (金)	
22日 (土)	おはなしの会
23日 (日)	
24日 (月)	おやすみ
25日 (火)	
26日 (水)	コアラくらぶ
27日 (木)	おやすみ
28日 (金)	
29日 (土)	おはなしの会
30日 (日)	
31日 (月)	おやすみ

読み初め会

8日

「こはるちゃんのたのしいおしょうがつ」
(かみしばい)
「だるまさんが」「十二支のおはなし」
「トラのじゅうたんになりたかったトラ」
(としょかんししょ)



★0から3さい
「おととと」
「たまごのあかちゃん」ほか
★3さいから小学生
「はなをくんくん」
「アンガスとねこ」ほか
(おはなしグループ「ペガサス」)

15日



★0から3さい
「にんじんさんがあかいわけ」
「くだものあーん」
★3さい～小学生
「おもちゃ一つでだんまりくらべ」
「きたかぜとたいよう」
(おはなしグループ「ジオジオの会」)

22日



★0から3さい
「おにころちゃんとりゅうのはな」
「あかおにちゃんとあおおにちゃんの
さがしてどこどこ？」(かみしばい)
★3さい～小学生
「せつぶんとおに」(かみしばい)
「おにのサラリーマン」
(としょかんししょ)

29日



◆としょかんコアラくらぶ◆

日時：第2・4水曜日 午前11時から
場所：1かい あかちゃんしつ (先着8組)
対象：0～3さいまでのお子さんとその保護者

◆おはなしの会◆

とき：2時10分～2時50分
ばしょ：おはなしのへや
対象：0さい～小学生

イベントは中止・変更になることがあります。

*発熱のある方はご遠慮ください。

*マスクの着用をお願いします。



《新・尼崎の本棚 95》

尼崎えびす神社

阪神尼崎駅より西に五分ほど歩いたところに尼崎えびす神社があります。倉持戎大宮や「ちぢみ」さんなどの別称がありますが、一般的には商売繁盛の神様として知られる「**尼のえべっさん**」と呼ばれ親

やえことしるぬしおおかみ

まれています。創建は醍醐天皇時代以前と伝えられ、八重事代主大神(えびすさん)をご祭神としています。古代から漁業航海を守ってくださる海の神様として崇拝されており、漁業の盛んな町だった尼崎では深く信仰されてきました。毎年1月の十日えびす大祭ではたくさんの参拝者でにぎわいます。

以前は出屋敷にある貴布禰神社の南東に位置していましたが、昭和20(1945)年、家屋疎開の対象となり、現在の場所に移転しました。また、以前は事代主神社という名前でしたが近代に入り、えびす神社と改称されました。昭和34(1959)年に竣工した、高さ17mある朱色の大鳥居は神社のシンボルとなっています。

尼崎えびす神社を含む常楽寺、本興寺、長遠寺、法園寺、大覚寺、貴布禰神社の7つの寺では尼崎寺町七福神巡りを行うことができます。御朱印の色紙は尼崎出身の尼子騷兵衛さんの七福神イラストが描かれており、楽しみながら集めることができます。

(参考:『京都・大阪・兵庫七福神めぐり』藤村郁雄/著)

神戸新聞出版総合センター・『阪神沿線まちと文化の110年』阪神沿線の文化110年展実行委員会/編 神戸新聞出版総合センター)

◆ 商売繁盛の神、えべっさん

えべっさんのイメージは烏帽子を被り、タイと釣り竿をもった姿が一般的です。これは釣りをして生涯を過ごしたと想像されることや、後世に海にゆかりのある神様と混同され、現在のスタイルが定着しました。一本の釣り竿で慎ましく生活する清廉な姿から、現在では暴利をむさぼらない地道な商売の神様として信仰されています。

十日えびすの風習は、恵比須講という祭礼が由来で関西では1月に行われます。神社では縁起物を飾った福笹や熊手が販売されます。熊手が縁起物となったのは、江戸時代、熊手売りが神社に市を立てた際、福運と金を「かき集める」商売繁盛の縁起物として町民に売ったことがはじまりといわれています。農民の間では小正月に普段使っている道具を飾り豊作を願った風習があり、「招福熊手」の発想が生まれたのかもしれませんが。

(参考:『福を呼ぶ・幸運を呼ぶ七福神』佐藤達玄/著 木耳社)

● 「七福神」についてならこんな本●

『京阪神七福神めぐりご利益さんぽコース』あんぐる/著 メイツ出版 212124828

『図説・七福神』戎光祥出版編集部/著 戎光祥出版 211619000

『七ふくじんとおしょうがつ』山末やすえ/著 教育画劇 221062025

<図書館の休館日> 印の日はお休みです

1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					



1月:睦月(むつき)

食べ物:ミズナ、コマツナ、ナガネギ、ユリネ、イヨカン、キウイ、シジミ、ホタテ
植物:カンツバキ、シクラメン、アザミ、ロウバイ、クリスマスローズ
季語:雪兔、氷柱、寒稽古、年越詣、白鳥、水仙、葉牡丹

開館時間 午前9時~午後8時(日曜・休日(○)は、午後5時15分まで)



明けましておめでとうございます
今年も 北図書館を
宜しくお願い致します



北図書館おみくじ

- 【日時】 1月8日(土)・1月9日(日)
- 【場所】 北図書館 1階カウンター
- 【定員】 各日、大人用50本、子ども用50本
計200本(先着順)
- 【申込】 不要

おみくじを引いて、今年の運勢を
占おう！
本の貸出に来られた際に1人1本引くことが
出来ます。
おみくじにはおすすめ本も載っています。



<1月展示のご案内>

一般大展示 本で免疫力アップ！
2階展示 きものあれこれ



青少年室の使い方

- ◆ 利用の前に座席券を
2階カウンターで座席利用券を取り、同じ
番号の席をご利用ください。
券は席の見える所に置き、お帰りの際は
カウンターまでお持ちください。
1時間以上席を離れる場合は一旦券を
お戻しく下さい。
1時間以上不在の場合は、他の方に席を
まわしますのでご了承ください。
- ◆ 座席券は1人1枚
後から来る友人の分を先に取ったり、1人で
2席を使うことはできません。
- ◆ 飲食・雑談など
自習や読書のための部屋です。雑談や飲食、
音の出る機器の使用はご遠慮ください。
また、イヤホン・ヘッドホンの音漏れ、電卓・
キーボード等の打鍵音にもご配慮ください。
- ◆ 青少年室の利用は中学生から
小学生の方は児童室をご利用ください。
- ◆ 長時間ご利用の方
自転車は地下駐輪場にお停め頂くよう
ご協力をお願いします。



- ◆ 急遽イベントを中止、または延期する場合があります。
- ◆ ご来館の際は感染症対策へのご協力をお願い致します。

大人のための朗読会

【日時】 1月19日(水) 午後2時から1時間ほど

【場所】 3階 集会室

【内容】 『仕事で大切なことはすべて尼崎の小さな本屋で学んだ』より

「エピソード〇なぜ本屋が傘を売り始めたのか？」

川上 徹也／著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

※ 状況により、内容の変更・中止になる可能性があります。

人を読む 大崎 梢

東京都生まれ。元書店員。著書に『配達あかずきん』『ドアを開けたら』『空色の小鳥』『誰にも探せない』『横濱エトランゼ』『平台がおまちかね』『背表紙は歌う』など多数。

『よっつ屋根の下』

大崎 梢[著]／光文社

「転勤」という名の左遷により、東京を離れ銚子に勤務する父。そんな父について行った息子。同行を拒んで東京に住む妻と娘。転勤をきっかけに、親子はそれぞれに思いを巡らす。大事なことは何？それぞれの想いを綴った物語。『小説宝石』等の掲載を単行本化。

『だいじな本のみつけ方』

大崎 梢[著]／光文社

放課後の学校でつけた忘れ物は、大好きな作家・新木真琴の新刊だった。新刊を楽しみにしていた野々香は、さっそく書店に向かうが、発売は来週だと店員に告げられる。まだ発売されていないはずの本がなぜ学校に？野々香はクラスの図書委員と一緒に持ち主の正体を探るが...。本と人を巡るやさしい物語。

『本バスめぐりん。』

大崎 梢[著]／東京創元社

“この仕事、自分に向いているだろうか。”定年後の時間を持て余し、移動図書館バスの新人運転手となったテルさんこと照岡久志。司書のウメちゃんこと梅園菜緒と一緒に、今日も本バス「めぐりん号」を走らせる。巡回先でバスを待つのは利用者と様々な謎？『ミステリーズ!』掲載作品を書籍化。

『天才探偵Sen 公園七不思議』

大崎 梢[著]・久都 りか[画]
／ポプラ社

自ら壁新聞を作っている渋井千は、幼なじみの香奈と信太郎、同級生から頼まれてしかたなく七不思議を調べることに...。テストはいつも満点、成績は学年一、さつき小始まって以来の天才児・千が数々の謎と事件を解く！【小学5～6年生】

2006年に連作短編集『配達あかずきん』を発表して小説家デビュー。同年春まで書店員として勤務する。同じく書店勤務の経験がある漫画家により漫画化もされた『配達あかずきん』は書店を舞台としたミステリーであり、“成風堂書店事件メモ”シリーズとして『晩夏に捧ぐ』『サイン会はいかが？』等も出版されている。

児 童 室 1 月



おはなし会



土曜日

(第3土曜日) 場所：3階集会室

おひざのうえ (0~2歳くらい) 午後2:00~
 小さい人 (3~5歳くらい) 午後2:15~
 大きい人 (小学校低学年くらい) 午後2:40~

1/15 (土)

● おひざのうえ

「ぴったりこ」「りんごがコロコロリンコ」

● 小さい人

「おもち!」「ニひきのよくばりこぐま」

● 大きい人

「ゆめたまご」「かさじぞう」



水曜日

あかちゃんひろば

(第1・第3水曜日)

場所：1階絵本コーナー

1/5(水)、1/19(水)

午前11:00~11:20

0歳~2歳くらいのお子さんと
保護者向け

赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊びなど



日曜日

(第2・第4日曜日)

場所：1階ロビー

2歳くらいから

1/9(日)、1/23(日)

午前11:00~11:20

季節の絵本や紙芝居など

1

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5 	6	7	8
9 	10	11	12	13	14	15 
16	17	18	19 	20	21	22
23 	24	25	26	27	28	29
30	31					

今月の展示

『ふゆのほん』

